



流星舎 話題の文芸書

『六月の満月』 一雫ライオン

感動広がり、続々重版！
3刷決定!! (7/9出来)

愛のぬくもりを知った。幸せだった。あの青年が現れるまでは――。

山井章吾は二十歳の時、人を殺めた。出所した彼を出迎える者は、一人もいなかった。巴実日子は二十二歳の時、ある事件によって未来と希望を奪われた。それでも彼女は、あえて笑顔で生きていた。そんな二人が出会い、ほのかに惹かれ合う。なんでもない日常が、互いの孤独を溶かしていった。だが、過去は簡単には眠らない。ある日、章吾の前に現れた一人の青年。「六十五番さんっすよね?」。その声が告げたのは、刑務所にいた頃の章吾の”名前”だった――。三人の宿命が交わる先にある結末とは？ 心揺さぶるラストまで一気読み！ 究極の純愛ミステリー。

※流星舎刊行書籍は「発行：流星舎 発売：幻冬舎」となります。事前注文につきましては流星舎にて承ります。発売後は流星舎、または幻冬舎営業局にて承ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

〈流星舎よりご挨拶〉

『六月の満月』は、『二人の嘘』や『流氷の果て』といった重厚なミステリー作品で読者を唸らせた一雫ライオンさんの最新刊。流星舎創立記念刊行作品として3月25日に発売した書き下ろし小説です。発売以降、ライオンさんと一緒に30店の書店を訪問させていただき、手売りイベントなどを実施してまいりました。その甲斐もあり、発売から約2ヶ月となる5月下旬に重版をかけることができ、そしてこのたび3刷決定の運びとなりました。「重厚だけど読みやすい」「切ないのに温かい」という一雫ライオンワールドをぜひご堪能いただければ幸いです。

流星舎 有馬大樹



一雫ライオン (ひとしづく・らいおん)
一九七三年生まれ。俳優としての活動を経て、演劇ユニット「東京深夜舞台」を結成後、脚本家に。多くの作品の脚本を担当後、二〇一七年『ダー・天使』で小説家デビュー。二〇二一年、女性判事と元服役囚の悲恋を描いた『二人の嘘』がベストセラーとなる。その他の作品に『スノーマン』『流氷の果て』などがある。

こちらから冒頭試し読みができます。

<https://x.gd/1E1zP>

ご希望の書店さまにはPOPを送付いたします。



番線印

ご希望数

『六月の満月』 一雫ライオン 著

冊

ISBNコード：978-4-344-95512-7 本体1700円+税

流星舎 担当：有馬大樹

TEL:03-6824-7004 FAX:03-6800-2893